

# 兵庫県産の「日本のへそごま(金ごま)」と白ごまを用いた新商品の開発・製造・販売 (平成24年度認定)



## 株式会社和田萬商店

〒530-0046  
 大阪市北区菅原町9-5  
 TEL: 06-6364-4387  
 FAX: 06-6364-7380  
 ●代表取締役: 和田悦治  
 ●設立/1883年  
 ●資本金/10,000千円  
 ●事業内容/食品・主に胡麻の製造加工  
 国内産ゴマ・輸入ゴマ全般  
 ●URL  
<http://www.wadaman.com>

### ■連携事業概要

希少な国産ごまの栽培の拡大と、無農薬・無化学肥料で栽培した兵庫県産ごまを使った新商品の開発・製造・販売を行う。



## 連携の経緯を教えてください

2008年から、みのり農協様が進める金ごまの栽培をお手伝いさせていただいていました。品質のととても良い播磨産の金ごまを、より広く知ってもらいブランド価値を高めるには、多様な商品開発と、紹介してもらえ場所が多いほどよい、ということになり、連携事業に応募することになりました。

## 農商工連携のメリットは？

- 農商工連携というブランドで、バイヤー様が興味を持って頂ける点。
- いろいろな展示会や商談会に参加できる点。
- 商品開発や広報活動で資金の助成がある点。
- 自分たちのやっている事業が、公に認められているのだという自信がつく点。

## 連携事業で苦労した点は？

当初予定していたときより、天候不順などで金ごまの生産量が安定しなかったところ。商品開発で当初思っていたことと違い、風味などがうまく安定せず、開発が進まなかったこと。初めてのこういった公の事業をさせていただいているため、報告書などの書類作成は不慣れで苦労しているとともに、関係の皆様にはご迷惑をおかけしています。



## これから農商工連携を 考えている事業者や農業者 へアドバイスは？



しっかりと計画をたてることです。計画をたてることは不慣れな方が多いかもしれませんが、できることを計画し、無茶な計画をたてないこと。それでもトラブルはいろいろと起こりますので。そして商品開発、営業活動はとにかく前向きにトライすることです。想定しなかった新しい商品が生まれたり、展示会に何となく出展して、初めてのバイヤーに興味をもってもらい販売が始まりました。こうしたことも、連携事業に認定していただいたご縁だと思っています。